

第 81 回 IEC ウラジオストク大会参加報告

平成 29 年度 IEC 活動推進会議 運営委員長
三島 久典 (株式会社 日立製作所)

第 81 回 IEC 大会が、2017 年 10 月 7 日～13 日にロシアのウラジオストクにて開催されました。ロシア NC である連邦技術調整局 (Rosstandart: Federal Agency on Technical Regulation and Metrology) の大会運営を務め、ロシアでの IEC 大会開催は初となります (ソ連時代も含めると 2 回目)。

会場となった極東連邦大学 (FEFU: Far East Federal University) に約 1,400 名が参加し、総会 (Council)、評議会 (CB)、標準管理評議会 (SMB)、適合性評価評議会 (CAB) 等の上層委員会、が開催され (10 月 7 日～13 日)、同時に TC/SC のテクニカルミーティングが開催されました (10 月 2 日～13 日)。



会場の極東連邦大学 (FEFU)

[主要会議日程]

表 1 日程

日 程	会 議
10 月 7 日 (土)	SMB CAG、CAB CAG
10 月 9 日 (月)	SMB 会議、CAB 会議、開会式、ウェルカムレセプション
10 月 10 日 (火)	ヤングプロフェッショナル朝食会、Affiliate Forum、APCF 会議 (Asia-Pacific Coordination Forum)、PASC レセプション Conference of the MSB "Edge Technologies"
10 月 11 日 (水)	CB 会議、Workshop for Industrializing Countries
10 月 12 日 (木)	NC 会長フォーラム、NC 事務局長ワークショップ
10 月 13 日 (金)	総会 (Council Statutory Session、Open Session)、フェアウェルパーティ

注：上記他、JISC と各国 NC とのバイ会談あり (米、英、仏、独、豪、星、CEN/CENELEC、CJK)

[開催規模]

○招致 TC/SC 数： 39 (2014 年東京大会：53、2015 年ベラルーシ大会：24、
2016 年フランクフルト大会：106)

○参加登録者数： 1,381 名 (2014 年東京大会：2,367 名、2015 年ベラルーシ大会：1,289 名)

2016年フランクフルト大会：3,227名)

○参加登録者数（上位8ヶ国）

- 1) 中国：207名 2) 日本：194名 3) 韓国：114名 4) ドイツ：92名
5) アメリカ：85名 6) ロシア：78名 7) イギリス：43名、8) フランス：37名

本稿では、IECの最高意思決定機関である総会（Council Statutory Session及びOpen Session）の概要を報告いたします。

■ Council Statutory Session <2017年10月13日（金）8:30~11:50>



FEFU Middle Hall：出席者約400名



左から、野村前IEC会長、シャノン会長、フランス事務総長

1. IEC次期役員及び上層委員会委員（選挙結果等）

次期財務幹事（2018年～2020年）として、Jo Cops氏（ベルギー）が選出されました。また次期IEC副会長（兼CAB議長）として、Shawn Paulsen氏（カナダ）が選出されました。加えて、CB、SMB、CABについて、自動選出国（財政グループA）メンバーの承認、選挙による選出が実施されました。日本からは、CAB委員として、平田委員（富士ゼロックス）が再任となりました（表2参照）。

表2 総会での選挙結果

ポスト	氏名（国）	任期
IEC財務幹事	Mr. Jo Cops（ベルギー） * オーストラリアが落選	2018年～2020年
IEC副会長 兼CAB議長	Mr. Shawn Paulsen（カナダ） * フランスが落選	2018年～2020年
CB委員 （次期5名）	Mr. Aleksey Abramov（ロシア） Dr. Sadvir Bissoon（南アフリカ） Mr. Odón Demófilo de Buen Rodriguez （メキシコ：現職） Dr. Byung Goo Kang（韓国） Mr. Tore Tomter（ノルウェー） * インドが落選	2018年～2020年

SMB 委員 (次期3名)	Mr. Vimal Mahendru (インド：現職) Dr. Jin-Kyu Han (韓国) Mr. Óscar Querol (スペイン) * トルコが落選	2018 年～2020 年
CAB 委員 (2名：自動選出国)	Mr. Jörg Hartge (ドイツ) Mr. Masayuki Hirata (日本)	2018 年～2020 年
CAB 委員 (次期5名)	Mr. Marty Cole (カナダ) Mr. M. Faudzi Mohd Yasir (マレーシア：現職) Mr. Albert Nagtegaal (オランダ：現職) Mr. Trond Sollie (ノルウェー：現職) Mr. Nickolay Fayzrakhmanov (ロシア：現職) * インドネシア、トルコが落選	2018 年～2020 年

2. 財務関連

2016 年度単独・連結会計、2018 年度予算案・各国分担金等について承認されました。

- ・ 2016 年度：IEC 単独収入／支出とも 23,028 千 CHF (前年度比 +2.3%)
- ・ 2018 年度：収入／支出とも 23,550 千 CHF (前年度比 +1.5%)
- ・ 2018 年度日本の分担金：+1.5% (予算増に伴い増加)

英国、スロベニアから剰余金の活用方針、分担金と販売収入に関するコメントがありました。また監査法人として MAZARZ との継続契約 (3 カ年) が報告されました。

3. 今後の IEC 大会開催予定国 (都市)

2018 年の IEC 大会が釜山 (韓国) で 2018 年 10 月 22 日から 26 日に開催されることが再確認され、プロモーションビデオ上映、同大会への招待のご挨拶がありました。

また、今後の開催予定国・都市について、確認、承認、招待意向受理が行われました (表 3)。

表 3 2018 年以降の IEC 大会開催予定

開催年	国 (都市) [開催期間]	状況
2018 年	韓国 (釜山) [2018/10/22～26]	再確認
2019 年	中国 (上海) [2019/10/15～15]	確認
2020 年	スウェーデン (ストックホルム) [2020/10/5～9]	承認
2021 年	アラブ首長国連邦 (ドバイ)	招待意向受理
2022 年	アメリカ (サンフランシスコ)	招待意向受理
2023 年	エジプト	招待意向受理

■ Council Open Session <2017 年 10 月 13 日 (金) 14:30～17:00>

シャノン会長、Shu 副会長、Mr. Abramov (ロシア NC 代表) より挨拶があり、下記 5 テーマ 5 名によるプレゼンテーションがありました。

(1) “Geographical Aspects of Standardization (標準化における地理的側面)”,

Dr. Nikita Kuprikov (Director Polar Initiative, TC18A 委員)

(2) “Geographical Features as a Basis for Additional Requirements for Reliability of Electronic and Electrical Equipment (電気・電子機器の信頼性に関する追加要件の基礎としての地域固有特性)”,

Ms. Anna Sergeevna (Physical and Mathematical Sciences)

(3) “How distance is considered in IEC TC 9 activities (IEC TC 9 の活動において距離をどのように考慮しているか)”, Mr. Bernard Lerouge (IEC TC 9 Secretariat)

(4) “Cyber-Physical Systems: Let’s look forward (サイバーフィジカルシステム：期待しよう!)”,

Mr. Nikita Utkin (Chairman of the technical committee “Cyber-Physical Systems”)

(5) “Standardization in Mathematical modeling as the basis for Smart Manufacturing (スマートマニュファクチャリングの基礎としての数理モデリングにおける標準化)”,

Dr. Oleg Meinik (Moscow State University), Mr. Andrey Vagner

■ 所感

今回の大会では、会場の FEFU (ルースキー島) がウラジオストク市街地からかなり離れた位置にあり (約 20km) 移動の困難が予想されておりましたが、IEC-APC のチャーターバスによる柔軟な対応により、朝夕の交通渋滞に影響を受けることなく、日本派遣団 16 名全員、無事一週間の過密スケジュールをこなすことができました。関係者各位の事前準備及び当日のきめ細かな対応の賜物であり、心から深く御礼申し上げます。

SMB、総会、各国バイ会談等の陪席は、自分にとっては初めてのことであり、貴重な経験となりました。今回、参加の機会をいただき、経済産業省をはじめ関係各位に厚く御礼申し上げます。今回の経験を、自分が所属する IEC の SyC/TC 及び、IEC-APC の運営に生かしていく所存です。

今後とも引き続きご指導いただけますよう、よろしくお願いいたします。

以上



ルースキー島連絡橋： 手前がウラジオストク市街、対岸がルースキー島 (IEC GM 会場)